



公益社団法人福岡県理学療法士会 新体制移行について

福岡県理学療法士会の組織体制を振り返りますと、選ばれる職種としてその時代に対応すべく下記の変遷を経てつないで参りました。

- ・平成13年（2001年）：三局制（事務局・学術局・社会局）に加え、支部・地区体制を導入
- ・平成25年（2013年）：地域における組織機能の強化を推進するため、支部・地区体制を局組織（支部局）に昇格
四局体制（事務局・学術局・社会局・支部局）に改編
- ・平成29年（2017年）：地域包括ケアシステムに対応すべく、地域包括ケアシステム推進委員会を局組織に昇格
五局体制（総務局・学術局・社会局・支部局、地域包括ケア推進局）に改編

これも、会員の皆様のご理解ご協力があり、歴史をつなげられたことに改めて心から感謝申し上げます。

しかし、今後も「理学療法士の質の向上を継続して行い県民の医療・保健・福祉の充実に寄与する」という目的のもと、常に未来像を描きながら理学療法士の可能性を追求し続けなければなりません。

そのため、当会のマスタープラン実現に向けて、令和6年（2024年）4月より、新体制にて事業を進めさせていただくこととなりました。

【新体制改編の概要】 社会情勢に合わせた柔軟な組織体制の構築

▷局制の改編：現在の5局体制の見直し

全県下で行われる事業を事務局に集約し、事務局内に担当部（学術推進部・保健福祉部・管理部）を配置します

▷ブロック制の導入：支部機能の強化

各地域における会員相互の顔が見える関係の構築、市区町村や地域団体等との連携強化、地域における理学療法事業の開催をより推進するためブロック制を導入します（※現在の支部をブロック、地区を支部と改称）

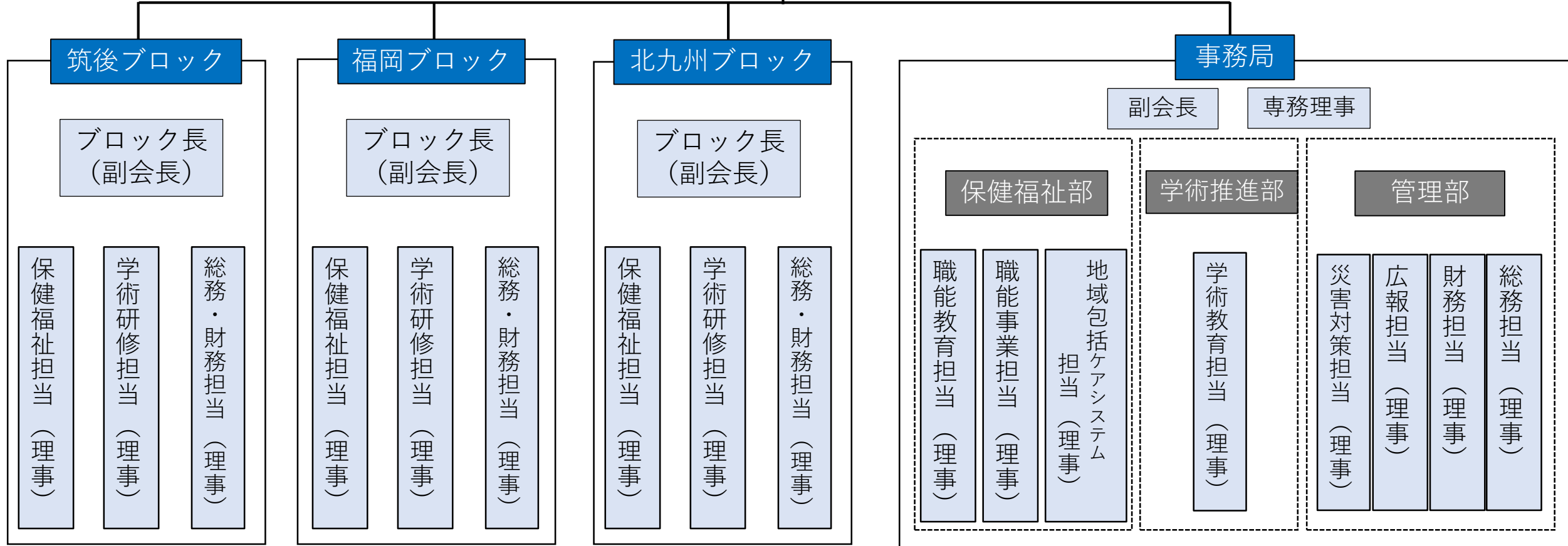
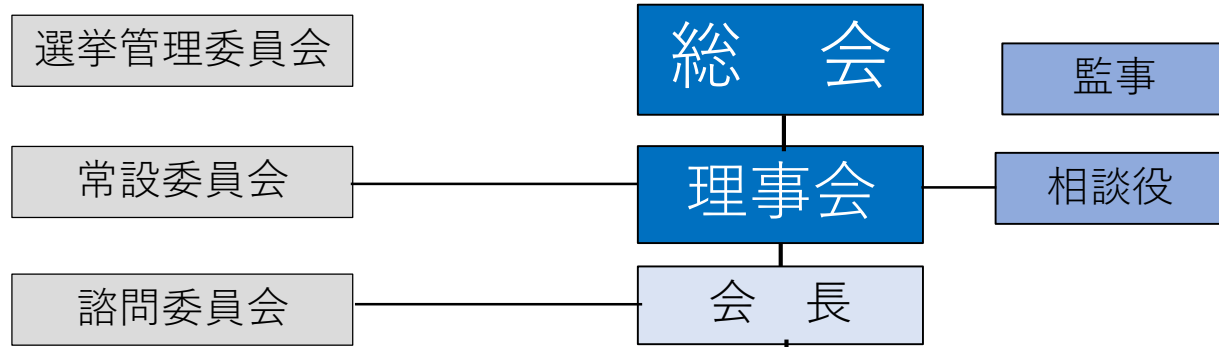
これからも理学療法士、他職種・県民の皆様との『出会い』を大切に『時代に選ばれる職種』となり

九州及び全国に、『福岡県理学療法士会の思い』を伝えていきます。

今後とも、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

公益社団法人 福岡県理学療法士会
会 長 西浦 健蔵

公益社団法人福岡県理学療法士会 組織体制（令和6年4月より）



公益社団法人福岡県理学療法士会 事務局組織体制（令和6年4月より）

保健福祉部

副会長

職能事業担当理事

職能教育担当理事

地域包括
ケアシステム
担当理事

啓発企画部長（部員）

ワークライフバランス
部長（部員）

スポーツ支援部長（部員）

健康推進企画部長（部員）

職能研修企画部長（部員）

人材管理部長（部員）

研修企画部長（部員）

学術推進部

副会長

学術教育担当理事

査読部長（部員）

学術誌編纂部長（部員）

学術・教育研修
企画部長（部員）

学会企画部長（部員）

管理部

専務理事

災害対策担当理事

災害対策部長（部員）

広報担当理事

広報部長（部員）

財務担当理事

財務部長（部員）

総務担当理事

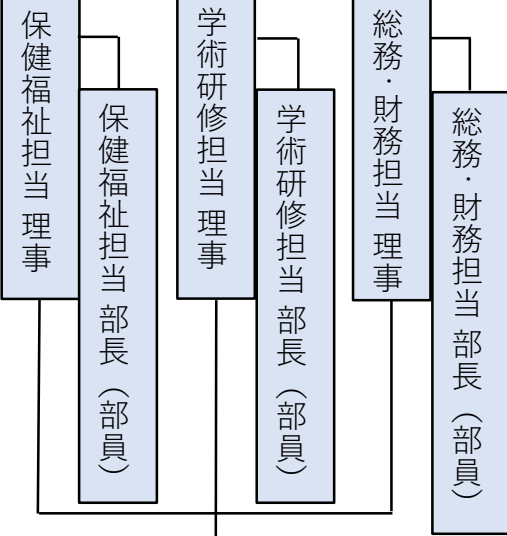
調査部長（部員）

総務部長（部員）

公益社団法人福岡県理学療法士会 ブロック・支部組織体制 (令和6年4月より)

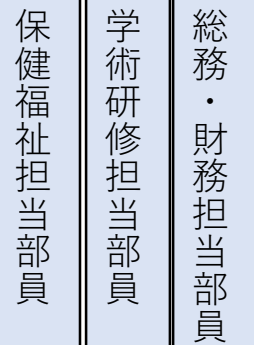
筑後ブロック

ブロック長 (副会長)



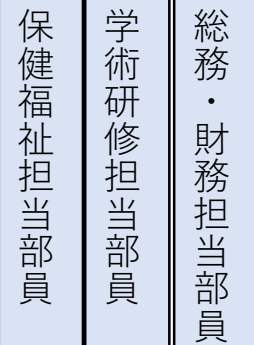
筑後1支部

支部長



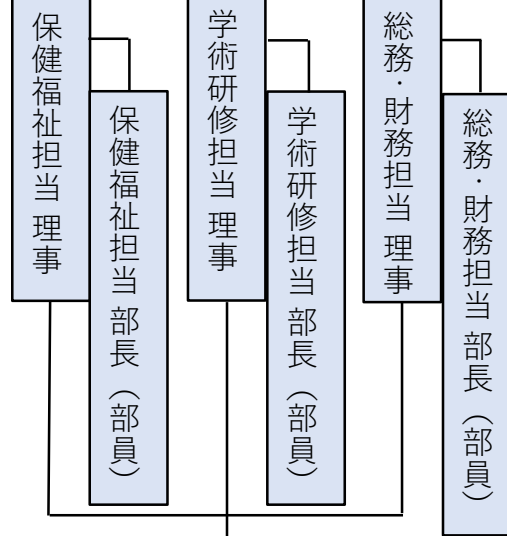
筑後2支部

支部長



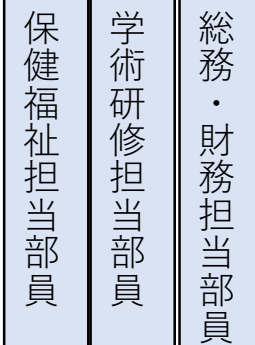
福岡ブロック

ブロック長 (副会長)



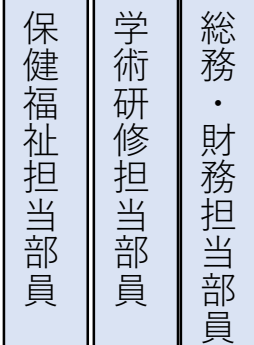
福岡東支部

支部長



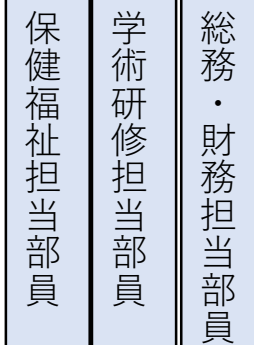
福岡1支部

支部長



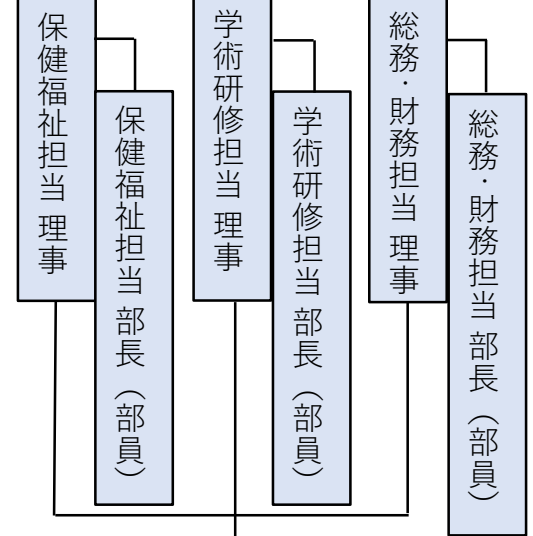
福岡2支部

支部長



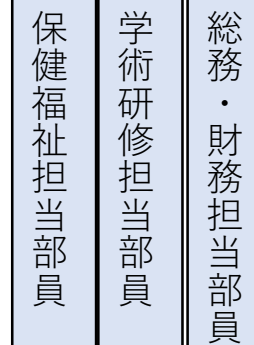
北九州ブロック

ブロック長 (副会長)



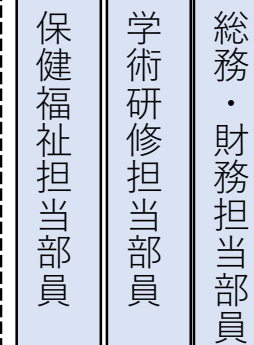
筑豊支部

支部長



北九州1支部

支部長



北九州2支部

支部長

